



教育の原点

- すべては子供達のために -

- 子どもたちは、私たちの姿を見て育ちます。
- <使命> 私たちは、子どもたちを守り育てます。
- <遵守> 私たちは、法令を守ります。
- <公正> 私たちは、不祥事を許しません。
- <公開> 私たちは、地域に開かれた学校にします。

不祥事根絶のための行動計画

尾道市立三成小学校
作成責任者 校長 梶原 弘志

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員が、当事者意識を持って研修できるような工夫改善が必要である。 ○安全運転の啓発・促進・徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員一人一人が服務研修記録を作成し、認識を深める。 ○学期毎の長期休業中にロールプレイなど体験的な研修を実施し、規範意識を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員全員に服務研修の運営をやりきらせ、自分なりの表現で服務について語らせ、自分のこととして受け止めさせる。 ○身の回りの整理整頓, 校内美化, 服装, 接遇(挨拶等), 時間厳守, 模範運転の実施等, 日々の行動の中で規範意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間計画を作成し, チェックリストを活用して, 点検する。 ○月2回, 学校経営会議で把握し, 改善する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○報告・相談・連絡が遅れることがある。 ○保護者や地域からの情報を周知する体制を整える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士の適切なコミュニケーションを促しながら, 組織としてやりがいのある仕事を進める。 ○研修を通して, 主体的に考え, 高め合う集団にする。 ○保護者からの情報や, データ, 資料, 備品等の学校の財産を共有化し, 仕事の効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の変化に気づいた時は, 管理職に速やかに報告・相談・連絡する意識を徹底し, 即座に対応する。 ○机上整理・施錠・業務ルーティンの徹底 ○各主任は, 行事等の計画・実施にあたって, 内容の見直しや効率化を図り進捗状況を把握する。 ○通常日の19:00退庁と水曜日の18:00退庁を徹底する。時間厳守の習慣をつけ, 45時間を超えないよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○月に1回, 定例の不祥事防止委員会を開き, 情報を整理して, 実態を把握する。 ○学期毎に分掌部会で状況把握と改善をする。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○児童や保護者に対して「体罰, セクシュアル・ハラスメント相談窓口」について, 効果的に周知する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰, セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い, 相談しやすい体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談窓口のプリントを保護者に配付したり, 学校だよりで周知したりする。 ○校舎内全ての教室に相談窓口のプリントを掲示し, 担当の教職員を明示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期毎に児童, 保護者及び教職員に体罰・セクシュアル・ハラスメントのアンケートを行い, 実態把握をする。